

## 第5回 LPの河川定期縦横断測量への適用検討会

日時：平成30年12月21日(金) 13:00~15:00

場所：中央合同庁舎第2号館 地下1階 第2会議室A

### <議事要旨>

- 河川定期縦横断測量における点群測量の実施（試行）で生じる点群データの較差について、どのような要因、メカニズムで誤差が生じるか、それに対してどのような補正ができるのかをしっかりと整理する必要がある。
- 点群による縦断測量では、天端の計測時に法面からの植生の倒れ込みが影響し、法肩付近の精度が天端中央に比べ落ちることがある。計測時期が草刈り前か草刈り後かを記録し、法肩から天端中央方向へオフセットの必要性や実施する場合の距離を整理する必要がある。
- 3次元データの活用を推進するため、河川維持管理の機能別に、どのような効率化・省力化が得られるかを整理するとともに、3次元データを活用することで新たに得られる管理上有用な情報とその活用方法を示すことが重要である。
- 管理で作成した3次元データを使って i-Con で発注するなど、測量から設計、施工、管理等の一連業務で3次元データを活用してほしい。その成果を持ち寄ってデータの受け渡し方法などについて、課題の発見や手法の改善をしてほしい。
- 3次元地形データの活用にあたっては、変状の様子や危険箇所が認識できるよう、縮尺、縦横比、色使い等現場で活用しやすいように表現を工夫すべきである。
- 直ちに実装可能な活用項目と、実施方法などを試行錯誤が必要なレベルの活用項目がある。レベルを明確にしたうえで、実装可能な活用項目については、必要となる精度や測り方等を整理して記載する必要がある。
- 国や都道府県が計測したLPデータを、相互に活用できるよう、データの保管方法を検討する必要がある。
- ノイズ除去後のオリジナルデータも保管すべきである。

以上